

令和3年度 伯耆町歳入歳出決算審査意見書

1 審査の種類 監査基準第2条第1項第4号 決算審査

2 審査の概要

①審査の期間

令和4年6月23日、令和4年8月2日、4日、5日、9日、17日

事務調査：6月23日（水道事業会計・下水道事業会計）

8月2日、4日、5日（一般会計及び各特別会計）

現地調査：8月9日（防災車庫、総合スポーツ公園、榎水リフト、神奈備ふれあい会館、溝口清掃センター）

②審査した決算及び帳簿、証書等

令和3年度 伯耆町一般会計歳入歳出決算書

令和3年度 伯耆町町営公園墓地事業特別会計歳入歳出決算書

令和3年度 伯耆町住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算書

令和3年度 伯耆町地域交通特別会計歳入歳出決算書

令和3年度 伯耆町国民健康保険特別会計歳入歳出決算書

令和3年度 伯耆町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算書

令和3年度 伯耆町丸山地区専用水道事業特別会計歳入歳出決算書

令和3年度 伯耆町浄化槽整備事業特別会計歳入歳出決算書

令和3年度 伯耆町索道事業特別会計歳入歳出決算書

令和3年度 鳥取県西部町村情報公開・個人情報保護審査会特別会計

令和3年度 伯耆町水道事業会計決算書

令和3年度 伯耆町下水道事業会計決算書

令和3年度 伯耆町各会計決算にあらわれた特徴

令和3年度 伯耆町決算資料

③審査の方法及び着眼点

提出された資料について、関係課長等から説明を聴取し、併せて別途実施した例月出納検査及び行政監査をも勘案して、決算その他関係書類が法令に適合し、かつ、正確であるかなどを審査した。

3 審査の結果

一般会計及び各特別会計決算書は、法令に準拠して作成されており、関係の諸帳簿、証拠書類を照合し厳正に行い、計数はいずれも符合して正確であり、出納経理も適確に処理されており、適正な決算であることを認めた。

4 合議により決定することができなかった事項 なし

5 決算の総括

(1) 伯耆町一般会計

①総額

(単位：円)

	令和3年度	令和2年度	対前年度
歳入総額	8,413,208,034	9,015,699,928	△ 602,491,894
歳出総額	7,817,194,879	8,575,758,424	△ 758,563,545
歳入歳出差引残	596,013,155	439,941,504	156,071,651
翌年度繰越財源	261,138,000	13,812,000	247,326,000
実質収支	334,875,155	426,129,504	△ 91,254,349
単年度収支	△ 91,254,349	158,290,161	△ 249,544,510
(財調基金積立等)	210,000	200,000	10,000
実質単年度収支	△ 91,044,349	158,490,161	△ 249,534,510

②歳入

(単位：円)

	令和3年度	令和2年度	対前年度
予算額	8,842,346,000	9,276,456,000	△ 434,110,000
調定額	8,498,864,275	9,128,441,610	△ 629,577,335
収入済額	8,413,208,034	9,015,699,928	△ 602,491,894
不納欠損額	2,899,003	4,125,408	△ 1,226,405
収入未済額	82,757,238	108,616,274	△ 25,859,036
(主な未済項目)			
町民税	17,904,588	19,709,310	△ 1,804,722
固定資産税	62,557,854	86,769,188	△ 24,211,334
軽自動車税	1,340,960	1,106,840	234,120
児童福祉費負担金	319,700	246,450	73,250
雑入	263,546	327,596	△ 64,050
収納率(対予算)	95.1%	97.2%	△2.1%
収納率(対調定)	99.0%	98.8%	0.2%

③歳出

(単位：円)

	令和3年度	令和2年度	対前年度
予算額	8,842,346,000	9,276,456,000	△ 434,110,000
支出済額	7,817,194,879	8,575,758,424	△ 758,563,545
不用額	415,215,121	445,351,576	△ 30,136,455
(主な項目)			
総務費	84,469,610	108,451,702	△ 23,982,092
民生費	73,323,733	62,137,754	11,185,979
衛生費	80,929,372	29,438,333	51,491,039
農林水産業費	27,604,004	50,507,205	△ 22,903,201
商工費	16,828,189	20,850,915	△ 4,022,726
土木費	51,903,464	65,674,712	△ 13,771,248
教育費	50,300,905	55,422,724	△ 5,121,819
翌年度繰越額	609,936,000	255,346,000	354,590,000
執行率(対予算)	88.4%	92.4%	△ 4.0%
執行率(繰越財源含む)	95.3%	95.2%	0.1%

(2) 特別会計決算状況

伯耆町町営公園墓地事業特別会計

(単位：円)

	令和3年度	令和2年度	対前年度
歳入総額	10,094,268	8,711,600	1,382,668
歳出総額	832,848	1,058,132	△ 225,284
歳入歳出差引残	9,261,420	7,653,468	1,607,952
翌年度繰越財源	0	0	0
実質収支	9,261,420	7,653,468	1,607,952
単年度収支	1,607,952	192,468	1,415,484

伯耆町住宅新築資金等貸付事業特別会計

(単位：円)

	令和3年度	令和2年度	対前年度
歳入総額	305,784	280,794	24,990
歳出総額	23,639,659	23,760,311	△ 120,652
歳入歳出差引残	△ 23,333,875	△ 23,479,517	145,642
翌年度繰上充用金	23,333,875	23,479,517	△ 145,642
実質収支	△ 23,333,875	△ 23,479,517	145,642
単年度収支	145,642	110,000	35,642

伯耆町地域交通特別会計

(単位：円)

	令和3年度	令和2年度	対前年度
歳入総額	118,848,573	126,898,421	△ 8,049,848
歳出総額	118,848,573	126,898,421	△ 8,049,848
歳入歳出差引残	0	0	0
翌年度繰越財源	0	0	0
実質収支	0	0	0
単年度収支	0	0	0

伯耆町国民健康保険特別会計

(単位：円)

	令和3年度	令和2年度	対前年度
歳入総額	1,412,744,265	1,323,978,817	88,765,448
歳出総額	1,358,797,542	1,285,598,095	73,199,447
歳入歳出差引残	53,946,723	38,380,722	15,566,001
翌年度繰越財源	0	0	0
実質収支	53,946,723	38,380,722	15,566,001
単年度収支	15,566,001	△ 8,253,122	23,819,123

伯耆町後期高齢者医療特別会計

(単位：円)

	令和3年度	令和2年度	対前年度
歳入総額	141,866,300	141,418,977	447,323
歳出総額	141,299,820	141,218,877	80,943
歳入歳出差引残	566,480	200,100	366,380
翌年度繰越財源	0	0	0
実質収支	566,480	200,100	366,380
単年度収支	366,380	△ 459,260	825,640

伯耆町丸山地区専用水道事業特別会計

(単位：円)

	令和3年度	令和2年度	対前年度
歳入総額	7,174,948	7,709,287	△ 534,339
歳出総額	7,174,948	7,709,287	△ 534,339
歳入歳出差引残	0	0	0
翌年度繰越財源	0	0	0
実質収支	0	0	0
単年度収支	0	0	0

伯耆町浄化槽整備事業特別会計

(単位：円)

	令和3年度	令和2年度	対前年度
歳入総額	21,912,620	25,205,002	△ 3,292,382
歳出総額	21,912,620	25,205,002	△ 3,292,382
歳入歳出差引残	0	0	0
翌年度繰越財源	0	0	0
実質収支	0	0	0
単年度収支	0	0	0

伯耆町索道事業特別会計

(単位：円)

	令和3年度	令和2年度	対前年度
歳入総額	37,357,344	13,975,932	23,381,412
歳出総額	48,422,357	25,040,945	23,381,412
歳入歳出差引残	△ 11,065,013	△ 11,065,013	0
翌年度繰上充用金	11,065,013	11,065,013	0
実質収支	△ 11,065,013	△ 11,065,013	0
単年度収支	0	0	0

鳥取県西部町村情報公開・個人情報保護審査会特別会計

	令和3年度
歳入総額	621,139
歳出総額	24,000
歳入歳出差引残	597,139

伯耆町水道事業会計

(単位：円 税抜き)

	令和3年度	令和2年度	対前年度
営業収益	102,296,783	103,605,491	△ 1,308,708
営業費用	262,703,162	237,088,853	25,614,309
営業損益	△ 160,406,379	△ 133,483,362	△ 26,923,017
営業外収益	133,786,284	123,903,582	9,882,702
営業外費用	24,234,149	25,894,125	△ 1,659,976
経常損益	△ 50,854,244	△ 35,473,905	△ 15,380,339
特別利益	0	231,026	△ 231,026
特別損失	0	14,969	△ 14,969
当年度純利益又は純損失	△ 50,854,244	△ 35,257,848	△ 15,596,396
前年度繰越利益剰余金 又は欠損金	△ 301,223,109	△ 265,965,261	△ 35,257,848
当年度未処分利益剰余 金又は未処理欠損金	△ 352,077,353	△ 301,223,109	△ 50,854,244

収益的収支の構成 (単位：円 税抜き) 資本的収支の構造 (単位：円 税込み)

	令和3年度
①給水収益	100,392,500
②受託工事収益	0
③加入金・手数料	1,786,100
④長期前受金戻入	84,986,603
⑤他会計補助金	34,185,078
⑥雑収益	14,732,786
収入計	236,083,067
①原水浄水費	61,402,078
②配水及び給水費	13,983,739
③受託工事費	0
④総係費	15,233,571
⑤減価償却費・除却費	172,083,774
⑥利子償還	19,993,403
⑦営業外費用その他	4,240,746
支出計	286,937,311
当年度純利益又は純損失	△ 50,854,244

	令和3年度
①企業債	84,900,000
②出資金	42,300,000
③繰入金	53,526,946
収入計	180,726,946
①委託料	6,600,000
②工事請負費	88,971,100
③土地・備品購入費	11,550
④元金償還	102,505,318
支出計	198,087,968
収支 過不足	△ 17,361,022

その他

資金 期首残高	106,181,449
資金 期末残高	95,556,011
資金 増減額	△ 10,625,438

伯耆町下水道事業会計

(単位：円 税抜き)

	令和3年度	令和2年度	対前年度
営業収益	131,727,094	131,410,832	316,262
営業費用	448,512,351	502,687,402	△ 54,175,051
営業損益	△ 316,785,257	△ 371,276,570	54,491,313
営業外収益	391,163,021	450,922,806	△ 59,759,785
営業外費用	52,487,860	56,226,684	△ 3,738,824
経常損益	21,889,904	23,419,552	△ 1,529,648
特別利益	0	0	0
特別損失	0	8,302,053	△ 8,302,053
当年度純利益又は純損失	21,889,904	15,117,499	6,772,405
前年度繰越利益剰余金 又は欠損金	15,117,499	0	15,117,499
当年度未処分利益剰余金 又は未処理欠損金	37,007,403	15,117,499	21,889,904

収益的収支の構成 (単位：円 税抜き)

①使用料	127,999,815
②加入金・手数料	3,727,279
③受託工事収益	0
④長期前受金戻入	238,893,796
⑤他会計補助金	148,530,617
⑥雑収益	3,738,608
収入計	522,890,115
①管きよ費	19,304,686
②処理場費	77,731,272
③受託工事費	0
④総係費	37,466,420
⑤減価償却費・除却費	314,009,973
⑥利子償還	43,063,099
⑦営業外費用その他	9,424,761
支出計	501,000,211
当年度純利益又は純損失	21,889,904

資本的収支の構造 (単位：円 税込み)

①企業債	8,700,000
②繰入金	180,285,270
③国・県補助金	15,205,000
収入計	204,190,270
①管きよ建設改良費	31,746,000
②処理場建設改良費	0
③固定資産購入費	0
④企業債償還	280,424,433
支出計	312,170,433
収支過不足	△ 107,980,163

その他 (単位：円)

資金期首残高	15,338,295
資金期末残高	19,866,408
資金増減額	4,528,113

(3) 地方債の状況

(単位：千円)

		令和3年度	令和2年度	対前年度
前年度末 未償還残高		5,815,551	6,094,915	△ 279,364
償還額	元金	975,589	949,149	26,440
	利子	11,438	14,070	△ 2,632
	小計	987,027	963,219	23,808
	繰上償還額	1,396	0	1,396
	合計	988,423	963,219	25,204
借入額 (現年・繰越)	公共事業等債	18,700	22,400	△ 3,700
	一般補助施設整備等事業債	2,100	600	1,500
	緊急防災・減災事業債	13,800	121,400	△ 107,600
	合併特例事業債	109,300	184,400	△ 75,100
	公共施設等適正管理推進事業債	16,400	101,900	△ 85,500
	緊急自然災害防止対策事業債	7,000	21,700	△ 14,700
	学校教育施設等整備事業債	0	24,500	△ 24,500
	減収補填債	0	23,085	△ 23,085
	過疎対策事業債	285,900	128,200	157,700
	過疎対策事業債(ソフト事業)	63,200	33,400	29,800
	災害復旧事業債	2,700	8,200	△ 5,500
	合計	519,100	669,785	△ 150,685
当年度末 未償還残高		5,357,666	5,815,551	△ 457,885

(4) 基金の状況

(単位：円)

	令和3年度	令和2年度	対前年度
財政調整基金	997,799,000	997,589,000	210,000
減債基金	780,647,000	722,971,000	57,676,000
公共施設等整備基金	883,743,000	631,893,000	251,850,000
交通遺児基金	5,635,000	5,625,000	10,000
農業集落排水事業推進基金	205,390,000	205,390,000	0
人材育成基金	17,127,000	17,117,000	10,000
浄化槽設置推進基金	2,716,000	3,187,000	△ 471,000
文化振興基金	42,482,000	42,462,000	20,000
体育振興基金	20,026,000	20,016,000	10,000
農業振興基金	14,553,000	14,543,000	10,000
被災者住宅再建支援基金	15,146,000	12,936,000	2,210,000
地域振興基金	1,100,000,000	1,100,000,000	0
豊かなふるさと創造基金	53,825,000	49,425,000	4,400,000
環境と教育のさわやか基金	1,588,000	1,514,000	74,000
森林整備基金	17,200,000	10,780,000	6,420,000
新型コロナウイルス感染症対策基金	20,000,000	0	20,000,000
用品調達基金	500,000	500,000	0
一般会計小計	4,178,377,000	3,835,948,000	342,429,000
国保財政調整基金	128,247,394	113,233,764	15,013,630
住宅新築資金等貸付事業償還基金	17,853,473	17,851,689	1,784
丸山地区専用水道事業基金	65,073,373	59,733,072	5,340,301
特別会計小計	211,174,240	190,818,525	20,355,715
基金合計	4,389,551,240	4,026,766,525	362,784,715

国債運用（約17億）内訳：減債基金（約3億）、公共施設等整備基金（約3億）、農業集落排水事業推進基金（約2億）、地域振興基金（約9億）

(5) 意見

令和3年度も新型コロナウイルス感染症の影響を受け、多くの事業が中止又は規模縮小を余儀なくされた。また小中学校、保育所などでの感染防止対策、長期間にわたるワクチンの集団接種など職員の負担の大きさを推察する。

一方で、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した感染防止対策から各種経済対策まで繰越事業含め36件にも及ぶ総事業費484,375千円もの事業を287,791千円の交付金を充当しながら実施された。中でもガソリン等購入助成、上下水道料金の減免、公共施設のLED化、洋式トイレ化などに多くの財源をさき、町民生活の支援や環境整備をされたことを高く評価する。

また各事業実施に際して、過疎債をはじめとする有利な起債を利用し、中でも合併特例債を枠の上限まで活用したことで実質公債費比率の低減に寄与し、健全な財政運営が継続している。今後も引き続き職員一丸となり、現在の健全性を維持するよう期待するものである。

一刻も早い新型コロナウイルス感染症の終息と町民の日常が戻ることを願い、以下、各会計の決算を審査した内容から若干の意見を加える。

- (1) 水道事業では資金収支の状況に問題はないが、令和3年度末で累積損失が352,077千円まで増加している。単年度の損益状況の改善と純資産である資本の部の充実に向けた取り組みが必要である。そのために、一般会計からの繰入の方法を工夫するとともに、負債の部の長期前受金の処理を精査されたい。
- (2) 各集落などが行う町単独補助事業について、補助率はすでに改正されているが、長引くコロナ禍に加え、昨今の国際情勢も加わり、物価高騰が著しいため、補助対象限度額、補助金限度額についても引き上げを検討されたい。
- (3) 小中学校、保育所では日々の施設内の消毒作業が大きな負担であるが、特に保育所では園の利用時間との関係もあり、職員の消毒作業の負担が大きいと思われる。職員の負担軽減を図る取り組みが望まれる。

結びに、長引く新型コロナウイルス感染症の流行により町民生活は疲弊する中、これからは経済活動と社会生活を両立していく時代になった。行政の業務、役割も重要性が増すばかりであるが、今後とも職員一丸となり、住民の負託にこたえるよう期待して令和3年度伯耆町歳入歳出決算審査の意見とする。